

①松本理論、松本医院診療方針を支持する意見。

②一人暮らしでどのように治療を続けてきたのか。

「治療の結果報告ならびに患者への更なるサポート
の為の対策提言（アトピー手記）(お父様記述) に対し
て私の読後感と私の近況報告」 徳弘徳子 78 歳

2016年4月16日

病気の元凶は、今の時代、否応なしに体内に入る化学物質であり、現代医療が免疫抑制することにより、余儀なく増殖するヘルペスウイルスです。しかし私達は、この元凶の環境処で生き続けなければならないのです。医学的専門知識を有しなくても、何回も何回も論文を読み自分で勉強する他、方法は無いと思います。アトピーも膠原病も今までに現代治療を受けた内容、期間、間違った治療によるその人のダメージ度により、不具合や症状も多種多様であり、個人差があります。貴方が言われる「嵐」を忌み嫌うなら、ステロイド治療に移行すれば良いのです。結果は自己責任です。

★ ステロイドを投与すると…ステロイドが作り出す最強のタンパク質リポコルチンの抗炎症作用によって、プロスタグランジン（PG）もロイトリエン（LT）も炎症の遺伝子が OFF になり炎症が消え去るのです。

① 高度な忍耐を強いられる

答：どれだけ医者又は自分でステロイドホルモンを量産し、免疫抑制の間にヘルペスウイルスをどれだけ増やしたかにより、メインの病気と同時進行の場合もあり、リバウンドの程度も多種多様であり、忍耐の差にも個人差があるかと思えます。

② 松本医院通院後に、発症した気管支不調、喘息

答 大なり小なり合併症は付き物です。本人からすれば有難くないですが、所謂付録の様なものです。大丈夫、付録のおまけも一緒に良くなるものです。もう喘息の発作もでないでしょう。私もリウマチ性多発筋痛症ですが、付録は潰瘍性大腸炎、気管支炎、アトピー性皮膚炎、ヘルペスウイルス性発作性高血圧、頻脈、不整脈、メニエール氏病（耳鳴り、難聴）頭痛等々です。

○ 病気とは…異物（化学物質とヘルペスウイルス）との侵入と出会いによって、免疫が認識して異物との戦いを始めることによっておこる。

○ 免疫の種類

1 自然免疫…生まれた時に備わっている免疫（補体）

2 獲得免疫…生まれた時には持っていない免疫（抗体）

生まれて6ヶ月頃から徐々に作り出し獲得していく免疫

○ 免疫の働き

1 自然免疫…（非特異的液性先天免疫）人体にとって異物である限り、異物の違いを区別せず殺しまくる（補体）

2 獲得免疫…（特異的液性後天免疫）異物の中から一つだけ選び出す高等な能力、働きを持った状況に応じて必要な敵を選び働く適応免疫（抗体）

◎ 補体（非特異的液性先天免疫）は病気を治す一番大事な働きを始めます。

○ 先天免疫の働き…大食細胞、好中球、好塩基球、好酸球によって腫れ、発赤、痛み、発熱、機能障害が起こる。貴方が言われる高度な忍耐を強いられる「嵐」です。

○ 後天免疫の働き…

1 Bリンパ球はI g M、I g G、I g E、I g A、I g D、B細胞が産生する糖タンパク分子。免疫グロブリンで血液や組織の液中に存在。

2 Tリンパ球はBリンパ球に特異的な抗体を作らせる。

○ 白血球は全て骨髄で作られる…好中球、好塩基球、好酸球、大食細胞、リンパ球（Bリンパ球、Tリンパ球）等、抹消に見られる白血球、五種類。

○ 免疫寛容…体の炎症組織から異物（化学物質）を食べた樹状細胞がリンパ節に運び、異物を認識させるTリンパ球に認識させ、敵を処理するサイトカイン（タンパク質）が作られ、Bリンパ球にI g Gを作らせ、さらにBリンパ球はI g GからI g Eに抗体を作り変えさせ抗体クラススイッチを起こさせ、I g Eを血流に乗せて炎症組織に運ばせ痒みを生じさせる。最後にレギュラトリート細胞（I L-10、T G F-β、免疫を抑制するサイトカインを作る）によって自然後天的免疫寛容が起こり汚染環境との戦いに負けて、I g E抗体は作られなくなって化学物質と共存が可能となるのです。

○ 免疫が治す…病気を治すのは、唯一原因療法であり、自分の免疫の遺伝子だけで、薬は免疫の遺伝子が作り出すタンパク質です。

○ 免疫の遺伝子の仕事…殺すか、封じ込めるか、排除するか、共存するか、四つの方法で処理します。

③ 治療するのは免疫寛容と言う状態を体内に作ることであり、免疫寛容がアレルギーの緒症状から体を防いでいるのである。つまり「免疫が治す」と言う表現は間違っていると考える。

答 免疫寛容の意味は免疫寛容のアンダーラインを読んで下さい。

答 いったい免疫寛容を起こすのは誰ですか？自分の遺伝子が作り出すタンパ

ク質でしょう。よって免疫が治す。

④ 勿論、要求があれば面会させていたが、それで症状が改善するわけでもないの、特に意味は感じなかった。その代わり血液検査の実施機会とわりきった。

忠告 この件（くだり）は先生に対して失礼です。見苦しい。人として有るまじき態度です。貴方は息子さんを診て戴く立場でしょう。言わば、貴方は息子さんの言動の模範となる人ですよ。

⑤ 漢方風呂、塗り薬は念仏

答 念仏結構。おもいは（思い、想い、念い）三通りあります。念ずる。心の働きで症状は改善されるものですよ。高血圧や頻脈の発作の度に対応の薬を服用後、私は「世界最高の松本医学の治療を受けている。これしか無い」とひたすら念仏の様に自分に言い聞かせ（貴方が言われる嵐）の静まるのを待ちました。いつも痛みに苦しめられ一睡も出来なく、不安と孤独に押し潰されそうな状態に追い込まれた時は、この念仏が無かったら絶望のあまり発狂していたかもしれません。

⑥ 「ステロイドは使わない」の宣言は

答 現代医療に翻弄され、疲れ切った患者がやっと松本医院へ辿り着いてほっとする。所謂、砂漠で見つけたオアシスです。道標です。

⑦ 嵐の緩和方法

答 貴方が念仏と言われる漢方煎剤、漢方風呂、漢方塗り薬、お灸この四つです。只々自分の来し方を強く反省して、治療に専念する以外に方法は無いのです。

⑧ 待ち時間が長い、ムリ、ムダ、モレ

答 診療と電話診療の分離は出来ないと思います。相互扶助の観点から考える必要があります。先生がお忙しいので、患者も心得て余程の事が無い限り、薬の注文の時、病状を言いアドバイスを受けその後投薬の変更、追加など指示されるでしょう。貴方が言われる高度な忍耐を強いられて居る真っ只中の患者は、先生の一声を聞かせて戴くだけで「頑張ろう」と、どんなに勇気が湧き立つ事か、考えた事が有りますか？お互い様です。治療中の方々は、絶望の淵に追い込まれやっと希望を見出し、病状の変化に一喜一憂しながら戦っている方ばかりです。電話受診も気兼ねしながら気を使って居るのです。医者へ診療に行く前に、自分のお尋ねしたいことを良く整理して、日頃から勉強を怠らず貴方が言われる高度なテクニックを付けることです。

松本先生は、言うならば病院や医者の治療ミスの尻拭いを明けても暮れても、来院する患者や電話の患者に時には怒り時には慰め心血を注いで診て下さっているのです。医薬業界が化学物質とヘルペスウイルスを認め、現代医療を改善しない限り（標準治療を見直す）これから先も増幅すると思います。

最後に私の事を記したいと思います

以前手記は提出させて戴きましたが、今78歳です。体力は随分衰えたと実

感じますが、勉強意欲、特に膠原病に対しては知りたい事が山ほどあります。松本医院のHPは私にとって宝庫的存在です。無料で勉強は出来るし、良くなられた方、途中の方、皆様の手記を読ませて戴くと元気が貰えます。

発症

病の発症はそれなりの背景があり、それに伴う心模様があり、因果関係があります。色々と火種はくすぶっていましたが、導火線になったのは平成5年5月主人の腹膜透析1日4回自宅での開始です。私その時51歳で余儀なく退職です。1日3時間位の睡眠で生き地獄の様な明け暮れの透析介護を約7年間私一人で頑張りました。見送った後一年間うつ病を発症、早い話がひき籠もりで、それも何とか克服しました。リウマチ性多発筋痛症を発症したのは、10年後の平成23年6月15日でした。先日ダイアリーを遡って検証してみると、犬の散歩途中の大出血も睡眠無呼吸症候群(SAS)でマウスピース装着(重症)。これら全てヘルペスウイルスが元凶で、既に色々と兆しはありました。約1年間医大でのステロイド治療で、量もだんだん増量となり右目は網膜裂孔(今も中央の視力無し)包丁も握れない、冷蔵庫に布巾をひっかけて口で開ける、手に力、感覚が無くなり茶碗、皿等を落とし日常生活がままならない状態に追い込まれて行きました。ネットで「ステロイドは使わない」にやっと辿り着き、平成24年4月から、松本先生に診て戴いて居ります。

何回も繰り返すリバンドが酷く24年9月頃、体中の毛、頭髮は全部抜け落ち、手足の爪はめくれ、浸出液(リンパ液)は2時間でプールに入った状態、体重は68kg(今は45kg)になり、スリッパも何足も捨て、とうとう浴室洗いのゴム靴にしました。聴覚も無くなり音無しの世界(洗濯機、電子レンジ、玄関のチャイム、電話等々)が3ヶ月位続きました。こんな折、看護婦上がりのケアマナーは熱心な方で(電話が通用しない)日参して、「私は以前癌患者を担当した事があったけどこれ程酷くはなかった。もしもの事があつたら私の責任になるから病院へ行こう」と説得に来てくれました。最後に私は「貴方は看護婦ならどんな治療を開始されるかお判りでしょう。私は死んでもステロイドはやらないと松本先生に約束して漢方治療を始める事が出来たので今日でお別れしましょう」とケアマナーを事実上首にしたのです。煎じ薬も、風呂の用意、洗濯も這いながら座敷杖で熟していたので、生ごみ出し掃除はハウスクリーニングに頼みました。

これも以前から一緒に、食事は宅配2食、スーパー店長配達週1回(うな重、刺身、とり串、牛肉(ステーキ用)果物、チリ紙他日用品)炎症の為グロブリンが多く消費されアルブミン不足で腎不全や栄養を運ぶ仕事が出来ないので栄養摂取には注意していました。薬湯も煎じ薬も治療開始から1日も欠かしませんでした。然し、腎不全を発症しました。(フロモックス100の手持ちを確認)高熱は5日間続きました。熱が上がる前、午後5時頃平生より短時間入浴、普段は汗が噴き出するのに一滴も汗は出ない、2日目に水便が出ました。(食欲は無くポカリと煎じ薬が食事)解熱と並行して、尿も少しずつ出始め普通に帰りま

した。漢方煎剤と漢方湯の凄さを実感した出来事でした。

リバウンドの終わり頃、朝、突然500円玉位の水疱疹が、バラバラと身体全体に出ました。勿論、浮腫、痛みも伴い睡眠も妨げられます。そんな折り、居場所が無く薬湯に晩の8時頃から浸り、あまり覚えていませんが追い焚きをしてしながらウトウトして居たらしいです。目が覚め夜中頃かなと思い時計を見てびっくり、明け方4時過ぎでした。バスは浅く足を伸ばしてゆっくりする事が出来、取っ手も両方内側にあり、追い焚き、床暖房も出来、快適ですが、巨体の入浴に苦労しました。入るのは何とか出来ても出る段に(足は亀の甲羅)体重が掛ると足裏が裂けるのです。怪我をしない様にタオルケットの厚い物を4つ折りに敷き転がり出しました。

先日も南国には珍しく一4度と寒い朝があり雪も積もりました。少し血圧高め、咳、鼻詰まり気味、喉と不調でしたが、漢方湯に2時間余り浸りゆったりした気分で見ると、朝はケロッと何事も無かった様に爽快、巷に言われるのと少し意味が違いますが、ゴットハンド。身体を全体揉み解して貰えた様で芯から温まりました。私はこの様に薬湯の有難さを享受させて戴いて居ります。今は買い物、庭掃除、炊事も全部自分でします。リウマチ発症で中断していた発芽玄米炊きを再開しました。(圧力鍋使用)一番気になっていた悩み苦しんだ発作性高血圧、頻脈、不整脈も(全部ヘルペスウイルスが元凶)昨年3ヶ年余りを要しましたが、平成27年11月13日以降止まりました。SASも忘れた様です。

まだ途中ですが、日を追う毎に回復に向かっていきます。歳は取っても戦中戦後、あの食料も薬も無い時代、草を食み薬として生き抜いた人間です。少々の事で音を上げません。「必ず最後は免疫が正しく処理してくれると信じています」

私の対峙の仕方

身体の不調に遭遇すると、初めは困ったと一瞬思いますが、自分自身に降りかかった事で何処へも転嫁は出来ない。善処策を考えるしか無い。例えば、おびたしい身体の滲出液も旅行用簡易雨合羽を着用、行楽用シートを長椅子に広げて座り、浴室洗いのゴム靴の中にナプキンの一番厚い物で接着部分を合わせて2枚重ねを敷く。(足裏は亀の甲羅の様に浮腫)抵抗少なく吸収も良い。悪寒で2時間後には全部着かえる事になる。ひとり息子は外国に出帳が多い。息子から「ちょこっと空路帰る」とメールが入ると私「金と時間が無駄、手紙書く」と返事。私の形相を見てパニックに落ち病院へ連れて行く恐れがあり、それを回避する為と私の美学(こだわり)哀れな姿を見せたくない、それに心の動揺、心配させて仕事に影響を及ぼすのを考慮し、歩行が出来る様になる迄、1年半位帰るのを止めていました。右目中央視力はありませんが、高齢者講習を受け(視野検査が余分にあります)運転はずっと続けています。遠距離ストップ、天気の良い日、気分の良い日以外は運転はしません。自宅は山の中腹にあり絶景ですが、(バス1日2回)買い物難民です。この様な思考で日めくりを

しています。

松本医院で治療される方々は相互扶助の精神で、これからも仲良く全治に向かって頑張りましょう。

以上